



こぎん



World Green Challengeにて優勝した際の集合写真(名古屋工業大学ソーラーカー部)

特集

巻頭スペシャル 若手会員と学生会員との座談会

N.I.T.リレー

支部総会報告
ゴルフ大会報告
名工大歴史館のお知らせ

学生ひろば

課外活動
大学の近況

交流コーナー

活動紹介
訃報



CONTENTS

巻頭スペシャル

若手会員と学生会員との座談会	1
----------------	---

N.I.T.リレー

支部総会報告

・名古屋支部総会報告	8
・岐阜支部総会報告	9
・東北支部総会報告	10
・岡山支部総会報告	11
・広島支部総会報告	12
・山口支部総会報告	13
・香川支部総会報告	13
・徳島支部総会報告	14

ゴルフ大会報告

・第142回 名工大ごきそ会報告	15
・第263回 名工会東京支部ゴルフ大会報告	15
・第7回 広島支部ゴルフコンペ開催報告	16

名工大歴史館のお知らせ	16
-------------	----

学生ひろば

課外活動

・名古屋工業大学フォーミュラプロジェクトの紹介	17
-------------------------	----

大学の近況

・自動演奏ピアノ名作選—「音楽らしさ」はどこからくるのか?	18
・名工大 オープンキャンパス開催	19

交流コーナー

活動紹介

・尾張支部 支部総会でミニコンサート開催 工場見学なども	20
・大阪支部 交流サロン、歴史探訪会など開催 地方部会、若手・女性部会も	21
・広島支部 「活躍する同窓生」が支部総会で話題提供 緻密な支部活動を展開	23
・九州支部 チャレンジ50(参加者50人をを目指す) 福岡～沖縄の広域支部	24
訃報	24



若手会員と学生会員との座談会

名古屋工業会の活動に疎遠になりがちな若手会員や学生会員のみなさまに同窓会を身近に感じていただくため、就職後10年ほどの会員7名(うち女性1名)と大学院1年次の会員8名(内女性3名)の方々を今年の7月にお招きし、座談会を開催しました。

当日の座談会の様子につきまして以下によりご紹介させていただきます。なお、参加者の自己紹介については、誌面の都合上、割愛させていただきます。

開会のあいさつ

一般社団法人名古屋工業会
常務理事
仁科 健 (B50)



皆さん、こんにちは。本日は名古屋工業会主催で、若手会員の方々と学生との座談会、そして懇親会をあわせて企画いたしました。大変暑い中、ご参加いただき誠にありがとうございます。私は名古屋工業会の常務理事を務めております仁科と申します。

昭和50年に経営工学科を卒業し、現在の社会工学科・経営システム分野の出身です。本日は司会進行を担当させていただきます。こうした形式の会は初めての試みですので、どうぞ皆さん活発にご意見をお聞かせいただければと思います。

まず趣旨についてご説明いたします。ご承知のとおり、2012年からは名古屋工業会への入会手続きを、入学時にお願する形に改めました。その結果、入学時点でおよそ9割弱の方が正会員となっております。しかしながら、名古屋工業会の認知度はいまだ十分とは言えません。工業会には現在22の支部がありますが、若手同士の交流の場がやや不足している状況です。そこで今回、このような場を設けさせていただきました。まだ第一歩ではありますが、今後はベテラン会員の交流だけでなく、若い世代同士の交流の場も充実させていきたいと考えています。

名古屋工業会では「ごきそ」という会誌を発行しており、会員全員に冊子をお配りしています。今回の取り組みも、その誌面を通じて「若手会員と学生の交流が行われたこと」を広く知っていただきたいと考えています。

理事長のあいさつ

一般社団法人名古屋工業会
理事長
横山 裕行 (K49)



横山と申します。昭和49年に現在の物理工学科を卒業し、トヨタ自動車に入社しました。入社以来41年間、品質保証やアフターサービスの仕事を担当し、最後は専務を務めさせていただきました。その後、ダイハツ工業で副社長を3年間務め、2019年末に現役を引退いたしました。そして2年前より名古屋工業会の理事長を務めております。若い頃は工業会の活動にほとんど関わることがなかったので、理事長就任の話をお願いしたときは正直驚きでしたが、責任を感じてお引き受けしました。

本日も越しくくださった学生の皆さんは、ちょうど私の孫と同じくらいの年齢です。若手会員の皆さんは、私がトヨタやダイハツに在籍していた頃に入社された世代にあたるのではないかと思います。昭和の世代から見れば、つい何かアドバイスを申し上げたくもなるのですが、時代の違いからの外れになってしまうかもしれませんので、今日はむしろ皆さんのお話を伺うことを楽しみにしております。

先日、卒業式の来賓として挨拶する機会がありましたが、そのときにも申し上げましたように、先輩としては名工大を卒業された皆さんが名工大で学んだ力を大いに発揮し、社会で活躍してほしいと心から願っています。そして学生の皆さんには、自分に合った会社に出会い、豊かで充実した社会生活を送っていただきたいと思っています。そのためにも、工業会として若い世代をしっかりとバックアップしていきたいと考えています。

大学で学んだことが 実務にどう生かされているか

仁科

座談会を始めたいと思います。最初のテーマは、名工大で学んだことが実務でどのように生かされているか。技術面に限らず人間関係などの面でも結構です。

「研究室での学び」

数理的な思考力、課題発見・解決力、コミュニケーション力、異分野交流、環境整備も重要

卒業生 A

仁科先生の前で「役に立ちませんでした」とは言えませんが（笑）。先生の研究室で品質管理を学び、現在もその分野の仕事に携わっています。大学では特に統計を学んだことが大きく、生産現場に入っても数字で説明できる点は非常に役立っています。一方で、機械工学や電気分野にはあまり触れていなかったため、入社後に改めて勉強しました。統計の知識とそうした工学分野を組み合わせることで良い成果を出せた経験もあります。



卒業生 E

学生時代は、ゼロから研究テーマを立ち上げる経験をしました。課題を見つけるのに苦労し、不満もありましたが、いま思えばその経験が役立っています。社会に出ると、解決可能でありながら課題と認識されていない問題が少なくありません。そうした「課題に気付く力」は学生時代に養われたと思います。

また、私は研究室で電力システムを学び、入社後も同分野に携わっていますが、同期には宇宙工学やビッグデータを研究してきた人もいます。変電所の情報解析を進める際に、そうした異分野の人材とコラボレーションすることで、新しい成果が生まれることもあります。学生の皆さんには、学んだ分野にとらわれず、異なる分野でも知識を生かせる可能性があることを伝えたいです。

仁科

先輩から就職に関するアドバイスがありました。学生さんはどのように感じましたか？



学生 A

最近、学会で機械学習など異分野との融合から新しい研究が生まれることを実感し、とても面白いと思っています。研究室で研究に没頭していると、どうしても視野が狭くなりがちです。異分野の社会人の方々と交流したり、学会に参加したりすることで視野を広げることが大事だと感じました。

卒業生 D

私たちが開発している製品は「この耐久性で大丈夫だ」ということを証明する必要があります。そのためには理屈と数値でお客様に説得できることが重要で、これはまさに学生時代の研究と同じだと感じています。人のつながりについても、無数にある部署の中で同じ研究室出身の先輩に出会うことがあり、大変心強いです。例えばコンピュータ回路で分からない部分があったとき、調べていくと2年上の研究室の先輩が担当していた、ということもありました。そうした人脈は本当に助けになります。

卒業生 F

会社では、大学時代に研究室で学んでいたことが直接仕事に役立っています。学生時代の教科書はいまも手元に置いて活用しています。また、研究室では報告会でスライドを作って発表しましたが、その経験もいまに活かしています。先生からは「研究環境は整えるから、自分たちで考えてやりなさい」と言われたことが印象に残っていますが、会社も同じです。自分で考えて仕事に取りに行く姿勢が大事であり、その経験がいまの仕事に活かされています。現在は部下を持つ立場になり、先生のおっしゃった「仕事の環境を整えること」の重要性も実感しています。



卒業生 B

私は海岸研究室に所属していましたが、研究の中心は数値シミュレーションでした。波の動きをシミュレーションで再現できないかと取り組んでいましたが、就職後にプログラミングを直接使う機会はなく、海岸の業務も担当していません。ただ、ゼミで毎週研究成果を発表し、先生や仲間と議論しながら課題を共有・解決していった経験は、現在の仕事にもつながっています。土木の業務では県が発注者となり、建設コンサルタントが設計を、工事が施工を、と多くの関係者が関わります。その際、調整やコミュニケーションが非常に重要であり、大学時代の経験が活かされています。



困ったことがあれば気軽に相談 名古屋工業大学卒業生のネットワーク

仁科

土木分野は特に結束が固いですね。県庁や名古屋市役所では「石を投げれば名工大の土木に当たる」と言われるほどです。

卒業生 B

県庁の建設局には約1,000人の職員がいますが、そのうち100人以上が名工大の卒業生です。道路や河川など、それぞれ得意分野があるため、困ったことがあれば気軽に相談できる環境があります。

仁科

トヨタ自動車でも同じような傾向はありますか？

卒業生 A

はい。トヨタ社内には名工大OBの会があり、つながりは強いと思います。

卒業生 C

他大学では卒業生の数が少なく、定期的集まる会を行わないところも多いですが、名工大は毎年20人ほどが入社しており、40年続けば800~1,000人規模になります。社内での結束は強く、県内外のイベントに参加できる優待もあります。毎年、「トヨタ御器所会」も開催され、女性会員の活動も盛んです。名工大内の同窓会

としても、またトヨタ社内の同窓会としても、非常に活発に活動しています。

仁科

デンソーさんでは、名工大卒業生の集まりはありますか？

卒業生 D

はい。トヨタさんと同じように、社内に名工大卒業生の会があります。

「人間力」について

仁科

Fさんは技術系出身ですが現在は人事にいらっしゃいますね。

人が相手の業務には正解がない

卒業生 F

はい。弊社は技術系出身の人事担当が多いです。人事の仕事でもデータやAIを活用する機会が多く、活躍の場が広がっています。

横山

現在は昔のように同じ部署に一生勤めるということはなく、異動希望も出せますからね。活躍の幅は確かに広がっているように感じます。

卒業生 F

実は人事への異動は私自身が希望しました。入社後に配属された新規事業の部署では、自分の中で行き詰まりを感じていましたので、新しい分野に挑戦してみたいと思って異動を希望しました。入社して数年経つと、それまで興味がなかった分野に惹かれることもありますね。

卒業生 C

人事に異動されて、部署の雰囲気や働き方に違いはありましたか？



卒業生 F

技術部署では数値で答えが出ますが、人事は相手が人ですので正解がありません。常に「これで良かったのか」と自問自答を繰り返すことが多いです。そこが難しいところですね。



コミュニケーション力や困難に立ち向かう力が大切

卒業生 C

私も入社時はいまと違うボディ設計部に配属されました。自動車のエアコンダクトを設計するときには空力を考慮し、効率よく風を流すために流体力学の知識が必要でした。結露防止のためにウレタンをどれだけ貼れば良いかなども、大学の教科書や文献を調べ、自分で計算して仕事にあたっていました。

ただ、そうした知識が直接役に立つのは入社後4、5年くらいまでで、その後はチームや関係者と協力して進める力、いわゆる「人間力」が求められるようになります。研究室や部活、アルバイトで培ったコミュニケーション力や困難に立ち向かう力が、現在の仕事に活かされていると感じます。

以前は、大学で学んだ内容とまったく違う部署に配属されることがよくありましたが、いまはそのような風潮は薄まりつつありますね。そのため、就職活動では、自分が大学で学んだ知識を将来どのように活かしたいのかをしっかりと話すことが大切だと思います。

課題に直面したときにどのように行動するかが、「人間力」を培う

仁科

いま「人間力」という話が出ましたが、それをどのように培うのがよいと思いますか？

卒業生 C

仕事が順調に進んでいるときよりも、課題に直面したときにどう行動するか。そのような経験が「人間力」を培うと思います。マネジメントの力もそうした場面で成長すると思いますね。特に我が社の場合、若手のうちから困難な

課題に取り組む機会があります。新しい分野は社内にも前例がなく、正解がひとつではありません。そうした仕事に取り組むほど、人が磨かれると思っています。

また、複数の案件が同時に動いているため、臨機応変な対応力やマネジメント力も求められます。いまの仕事は、大学での学びとはまた違った意味で鍛えられる環境だと感じていますね。

部活やサークルのつながりの大切さ

卒業生 G

私は建築の中でも構造系を学んでいました。我が社は「電力の安定供給」が使命であり、自然災害時にも電気を止めないことが求められます。そのため、建物が壊れてしまっては使命を果たせません。建築はデザイン・構造・設備など建物を構成するすべてがそろって初めて成り立ちます。

弊社は新築が少ないため、いまある施設をいかに効率的に保守していくかがカギとなります。研究室で得た基礎知識も役立っていますが、実際は入社後に学ぶことが非常に多いですね。仕事の進め方に関しては、一人で完結するものではなく、先輩や上司、関係者を説得しながら進めることが欠かせません。その際、スライドや資料を工夫して作成することも大切で、学生時代に身につけたアプリケーション活用のスキルも役立っています。また、学生同士で遊んだり、仲間を巻き込んで楽しむ経験も、実は大きな力になっています。

仁科

部活やサークルでの人間関係も役立ちましたか？

卒業生 G

はい。私はバレーボールサークルに所属していました。たまたま3年上の先輩が同じ会社にて、いまも近い部署で一緒に仕事をしています。ゴルフに行ったり、飲みに行ったりとつながりが続いています。また、同じサークルの後輩が入社してくることもあります。どこで人の縁がつながるか分からないものですね。



学生時代にやっておけばよかったこと

**勉強はもちろん一生懸命遊ぶこと
多様な考え方を吸収できる場に出ること
体力も重要**

仁科

卒業生の皆さんからたくさんのコメントをいただきました。学生の皆さんからは質問はありますか？

学生 B

学生時代に「やっておけばよかった」と思うことはありますか？



卒業生 C

私はもう少し真面目に勉強しておけばよかったと思っています（笑）。学生は社会人に比べて時間が自由に使えます。社会人になると逆にお金はあっても時間がありません。長期休暇が取れるのは学生の特権なので、勉強も大事ですが一生懸命遊ぶことも大切だと思います。

卒業生 E

私はこのような座談会の場にもっと参加しておけばよかったと思っています。バックグラウンドが同じ人の話しにはリアリティがあり、自分の将来像を重ねながら聞くことができます。いろんな人の考え方を吸収できる場に出席することはとても意義があると思いますね。

卒業生 B

私は部活やサークルに入っていなかったのもっといろんなことにチャレンジしておけばよかったと感じています。学生生活は、勉強とアルバイトと遊びだけだったので。会社に入ると「学生時代にどんなことをしていたの？」とよく聞かれるのですが、答えに困るんですよね。みんなに話せるような「ネタ」になる経験があれば、第一印象も変わり、コミュニケーションのきっかけになると思います。



卒業生 C

私は長期休暇を活用して、留学経験を積んでおくべきだと思います。1か月以上の滞在であれば、将来必ず役に立ちます。大企業に入ると英語は必須ですから。また体力づくりも重要です。私は大学時代にオーケストラと室内楽をやっており、仲間の多くが体育会系でした。体力のピークは20代後半で、30代に入ると少しずつ落ちていきます。運動習慣をつけておくことも大事です。

なんといっても「英語力」を身に着けること

卒業生 F

私も英語ですね。弊社にも海外拠点がありますが、私は英語が苦手なため避けてきたため、後悔しています。先ほど話があった遊ぶことも大事だと思いますね。就職活動はゴールではなく、その後の社会人生活のほうはずっと長いので、会社に入った後のキャリアプランをどう描けるかも重要です。

卒業生 D

私も同じく英語を避けてきたことをいまでも悔やんでいます。実際、アメリカのトップが来日したときにアテンドを任せられることもありました。そのようなときに学生時代に英語をしっかりとっておくべきだったと痛感しましたね。

仁科

生成AIの時代になっても英語は必要でしょうか？



卒業生 D

はい。必要だと思います。

卒業生 A

私は学生時代に英語をかなり勉強しましたが、入社してから続けなかったため、先日アメリカ出張に行ったとき全く聞き取れず、苦労しました。英語を勉強することは大事ですが、それを継続して取り組むことはもっと大事だと思いますね。後悔していることは、学生当時の目標が「トヨタに入社すること」で、入社してから何をしたいのが明確ではなかったことでしょうか。そのため、入社後は漫然と過ごしてしまった時期もありました。学生の皆さんには、業界や世界情勢を踏まえたうえで、会社に入った後の自分のビジョンも少しずつ考えておくことを勧めます。



国際学会の実際の場面では

仁科

英語力、体力、交流の場への参加など、さまざまな意見が出ました。特に英語力については、皆さん後悔されています。実際、海外との接点についてはどうでしょうか？

学生 C

9月にドイツで国際学会があり、人生初の発表を予定しています。ただ、英語力に不安があり、かなり心配です。海外で発表するときに準備しておくべきことはありますか？



学生 D

私も同じ境遇でした。ですが PowerPoint を投影しながら話すので、意外と暗記しなくても大丈夫でした。質疑応答もある程度想定される質問が多いので、それほど身構えなくても大丈夫だと思いますよ。

仁科

私も英語は得意ではありませんが、PowerPoint に文字が掲載されているので、それだけでも意外と伝わるものですよ。

卒業生 E

私も社会人になってから国際学会に参加した経験があります。私が学生の頃は、英会話スクールに通っていましたが、先生は専門用語に詳しくないため、どうしても日常会話の練習が中心になってしまいました。ただ、いまは ChatGPT の会話モードなどのツールがあり「私は〇〇のエンジニアです」と設定すれば、技術的な英会話の練習ができます。私自身も活用して効果を感じましたので、ぜひ試してみると良いと思います。

学生 C

ありがとうございます。参考にさせていただきます。

今後の名古屋工業会への要望

仁科

先ほど「このような場に参加する大切さ」をご指摘いただきましたが、今後、この名古屋工業会をより良くしていくためには、どのような工夫が必要だと思いますか？



オンラインで OB・OG と在学生が つながる仕組みを 異分野の交流の機会は重要

卒業生 C

私が所属する会社のシステムで良いと思ったものがあります。社員の部署や経歴を登録し、興味を持った人が

オンラインでつながって会話できる仕組みです。直接顔を合わせる機会も重要ですが、オンラインでも交流できれば距離の制約をなくすることができます。名古屋工業会のウェブサイトと同様の機能を導入し、OB・OGと在学生がつながれる仕組みをつくと良いのではないのでしょうか。

横山

企業の方々に集まって座談会を開き、学生の皆さんがオンラインで参加できるようにするのもよいですね。講演会の形式にすることも可能だと思います。

仁科

他に要望はありますか？

学生 E

私は土木分野の交流会に参加したことがありますが、今回のように異なる業界や学科の方々が集まる場は少ないと感じています。異分野とのコラボレーションの価値を考えると、こうした機会は今後ますます重要になると思います。多様な考え方を学ぶ意味でも、ぜひ継続してほしいです。



今回のようなコミュニケーションを重ねることが学生と会社のミスマッチを減らすための第一歩

横山

いまは入社後5年で3割が辞める時代です。学生と会社のミスマッチをできるだけ減らすことが大切です。この会もその一助になると考えています。情報があふれているいま、学生は企業について詳しく調べられますが、企業側はエントリーしてくれる学生を十分に知る時間がないと悩んでいます。インターンシップも一つの方法ですが、完全には解消できていません。昔は面接で学生が緊張していましたが、いまは企業の方が緊張しているくらいです（笑）。

卒業生 F

人事を担当している立場からも、それはよく分かります。



横山

学生に入社してほしい一心で、耳あたりの良いことばかり言ってしまう場合があります。それもまたミスマッチの原因になり得るでしょうね。正解はなかなか出せませんが、このような場でコミュニケーションを重ねることが解決の第一歩になると考えます。

卒業生 F

採用面接では、学生をより深く理解したいものの時間が限られるため難しさはあります。できるだけギャップをなくそうとしていますが、ゼロにするのは簡単ではありません。

仁科

つまり、企業側へ学生の情報が少ないことが課題となるのです。そのようなことも考えた上で、名古屋工業会も進んでいかないといけないですね。

本日は皆さんからさまざまな貴重な意見をいただきました。名古屋工業会への要望も含め、今後、この会をより良くしていくための参考にさせていただきます。本日はありがとうございました。



※ 2025年7月26日(土)、2号館11階ラウンジにおいて座談会を開催し、終了後校友会館で懇親会を開催したものです。

N.(仲間と) I.(いつまでも) T.(つながろう)リレー

総会などの開催予定や
各支部及び単科会等の
活動についてご紹介します。



支部総会報告

名古屋支部総会報告

名古屋支部

2025年6月21日(土)、2025年度名古屋支部総会を開催しました。総会には来賓として、工業会本部からは横山理事長、河邊副理事長、仁科常務理事、小山理事、内藤相談役に、大学からは小畑学長にご臨席賜りました。小畑学長には、大学の近況についてお話ししていただきました。その後、2024年度事業報告・会計報告、2025年度事業計画・事業予算について審議を行い、いずれの議案も、出席された会員の皆様に、ご承認をいただくことができました。



小畑学長のあいさつ

また、支部総会と併せ、大学学務課のご協力を賜り、名古屋工業大学佐野明人教授をお招きして、名古屋工業大学全学公開講座「40年の歩行ロボット研究と歩行支援機開発」を開催しました。こちらは一般受講者74名を含め143名の皆様にご参加いただきました。講演後のアンケートでは満足度が5点満点中4.74と高評価で、「動力を使わない歩行支援に非常に興味を持った」「哲学的な思想から健康や老後の問題まで語られていて大変興味深かった」という声もあるなど大変盛況な講演会となりました。

さらに、大学会館にて懇親会を開催し、支部の会員同士が交流する貴重な機会となりました。

今後は、支部総会でご承認いただいた2025年度事業計画・事業予算に基づき、支部活動を行ってまいりますので、会員の皆様のご理解、ご協力のほど、よろしくお願いたします。



藤本支部長のあいさつ



横山理事長のあいさつ

記：北村 憲彦(M56)



講演会(全学公開講座)の様子①



講演会(全学公開講座)の様子②



懇親会の様子

岐阜支部総会報告

岐阜支部

(一社)名古屋工業会 岐阜支部では、2025年5月10日(土)に、岐阜駅前のホテルリソル岐阜において、会員33名が参加して、2025年度の総会と講演会を開催しました。

総会

総会は、(一社)名古屋工業会本部より横山理事長と仁科常務理事をご来賓にお迎えして開催しました。

開会のあいさつでは、各務支部長がこの1年の活動を振り返るとともに、会誌「ごきそ」のフルカラー化や、能登半島地震に貢献された名古屋工業大学の北川教授の「情熱大陸」出演などを紹介されました。

続いて、横山理事長の来賓ごあいさつでは、母校の現状として、学生は地元が多く、約8割が愛知県出身、岐阜県・三重県の出身者を合わせると約9割になることや、卒業生の約8割が修士課程に進んでいることなどをご紹介いただき、時代の変化を感じさせられました。

議事については、2024年度の事業報告や収支決算、2025年度の事業計画や収支予算案、さらに役員改選についての審議が行われ、すべての議題で承認が得られました。



各務支部長による開会あいさつ

横山理事長による来賓ごあいさつ

講演会

総会に先立ち、岐阜県恵那市で3期目の市長としてご活躍中の小坂嵩峰様(A62)より、「恵那市のまちづくりについて」と題してご講演いただきました。「住みたい田舎ベストランキング」の「人口3万人以上5万人未満のまちランキング」で、2年連続総合1位を獲得している恵那市の、「はたらく」、「たべる」、「くらす」、「まなぶ」をキーワードとした各種取組や、WRCの誘致、ポーランドとの交流など、幅広い分野のお話を聞くことができました。

また、隣の市にリニア駅ができることから、明知鉄道にSLを走らせ、全国から「リニアできてSLに乗る」コンセプトの企画を進めていることなど、未来に向けたお話もご紹介いただきました。



ご講演中の小坂講師

おわりに

ご承認いただいた事業計画に基づき、支部活動を展開してまいります。会員の皆様のご理解とご協力をよろしく願います。なお、総会後には懇親会を開き、親交を深めていただきました。

記: 岐阜支部幹事 岩田 靖(C59)



岐阜支部総会 集合写真

2025年6月14日(土)に仙台市青葉区のホテル白萩において、2025年度名古屋工業会東北支部総会及び懇親会を開催しました。来賓として工業会本部より横山理事長をお招きし、羽鳥支部長(C57)以下11名、全12名で懇親を深めました。

ご参加いただいた皆さまの近況を確認させていただき、お元気な顔を拝見しました。年代や専攻が異なる方々が集まる中、思い出話に花が咲く合間もあり、同窓が集うのはかけがえのないものであると実感しました。

はじめに、横山理事長より母校の動向と名古屋工業会の取組+状況についてご報告をいただきました。

引き続き2024年度事業活動結果及び決算・監査結果、2025年度事業活動計画及び予算案、2025年度役員案について報告し確認しました。

2025年度の東北支部は、昨年に引き続き次の体制で運営してまいります。

支部長 羽鳥 明満(C57) **幹事長** 鈴木 聡(C57) **幹事** 佐藤 拓弥(CM27)

幹事 鈴木 誠也(CM25) **監査** 齋藤 文伸(A51)



2025年度名古屋工業会東北支部総会・懇親会参加者

また、翌日には恒例の名古屋工業会東北支部長杯ゴルフ大会(第46回)を開催しました。前日の曇天から一転して快晴に恵まれ、宮城県仙台市にある「グレースリッジカントリークラブ」に於いて、蔵王連峰、太平洋を望むダイナミックなパノラマを眺めながらプレーし、楽しく親睦を深めることができました。大会結果は、黒田孝亮さん(A50)が優勝し、支部長杯が授与されました。

支部役員一同、ご参加いただきました皆さまに感謝申し上げます。

今後も引き続き楽しいイベントを開催できればと思っております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

記:鈴木 誠也(CM25)



第46回東北支部長杯ゴルフ大会参加者



大会優勝者 黒田孝亮さん(右)

岡山支部総会報告

岡山支部

2025年6月28日(土)、本部から横山理事長を来賓としてお迎えして、岡山支部総会をサンビーチ岡山において開催しました。

佐々木代議員(SC-H6)が初めて司会を担当され、野村支部長の挨拶から始まりました。岡山支部初登壇となる横山理事長から、自己紹介や大学・同窓会、名古屋の最新情報等を伺いました。

また、最長老の片山さん(W33)からは、瀬戸中央道建設に当たって地元調整に奔走された当時の思い出が紹介されました。同窓の知人が工事担当される先進地を見学されたことなど、地元でも知らなかった内容で興味深く伺いました。

宮崎前支部長(A45)の乾杯で始まった懇親会では、世代や学科の枠を超えて懇親を深めることができました。昨年に続いて、石井さん(G47)のサクソ伴奏による校歌斉唱で盛り上がりしました。

記:支部長 野村 幸宣(C54)



野村支部長あいさつ



横山理事長あいさつ



片山さんの講話



石井さんのサクソ



円卓にて



集合写真

2025年6月28日(土)15時～17時、サテライトキャンパスひろしま(5階504中会議室)にて、2025年度名古屋工業会広島支部総会を開催しました。

現在、広島支部で連絡可能な同窓生は、この1年間で逝去された3名、他支部への所属変更の4名、連絡先不明となった1名を除き256名で、そのうち連絡手段別では、メールで直接連絡可能な方が137名(正会員25名、登録会員112名)、マツダの社内メールを経由して間接的に連絡可能な方が36名(正1名、登録35名)および郵送が83名(正36名、登録が47名)となっています。

参加者数は、今回より会場に加えてオンラインを併用したハイブリッド方式を試行しましたが、会場が昨年より1名増の24名(うち懇親会が20名)、オンラインが4名の合計28名でした。

工業会本部からは仁科健常務理事(B50)に参加いただき、大学の近況、工業会の取り組み、工業会の課題と対応について説明を受けました。2025年の学部の入学者953名のうち女子が203名と約21%を占めること、大学院の入学者は前期が771名(女子が107名)、後期が51名(女子が4名)で修士課程への進学が8割に達すること、さらには新入生の62%は愛知県出身で勤務先も50%は愛知県であることなど私の学生時代とは様変わりしていると感じました。

2年前から始めた「活躍する同窓生」の紹介コーナーでは、昭和57年に建築学科を卒業され、公益財団法人中国地域創造研究センター 主席研究員、比治山大学非常勤講師をされている宮本茂氏が『小さな賃貸住宅「テラスコート牛田旭」建設・経営物語～日本一の賃貸住宅のあり方を模索したプロジェクトX』と題して約1時間熱く語られました。土地所有者の娘婿という立場で、研究員生活で培ってきた街づくりに関する経験や知識を実際のフィールドで実践し、かつ相続税の節税も果たしたプロジェクトの紹介でした。

総会終了後には、広島そごう10階のMadam XENLON(中華料理店)に移動して懇親会を開催しました。懇親会は山口支部長の岸田潤三氏(C58)の乾杯挨拶で始まり、最後は恒例の参加者全員による近況報告で締めくくり旧交を温めました。

オンライン参加者が予想より少なかったですが、「事前テストで不安なくPC接続でき、画像、音質共に全く問題なく、臨場感もあった。気楽に参加できるので有効なツールだと思う。来年以降もこの仕組みで運営していただくと助かる。」との意見をいただき、来年以降も継続したいと考えています。

記:大田 一夫(C47)



乾杯挨拶の岸田山口支部長(C58)



講師の宮本茂氏(A57)



総会終了後の集合写真

山口支部総会報告

山口支部

2025年6月7日(土)、山口グランドホテルにて、2025年度支部総会を開催しました。

横山裕行理事長をお迎えし、総勢9名の方のご参加をいただきました。

支部長の決算報告に続き、横山理事長から大学及び工業会の近況報告がありました。新入生の8割が東海四県からであることや女子学生の比率が2割であることなど、我々の時代とは隔世の感があります。また、大学と工業会の連携が密になってきている等のお話しをしていただきました。

続いて、萩市にある雲林寺のご住職、角田慈成様に「猫寺和尚の猫談義」と題して講演をしていただきました。荒れていたお寺を10年がかりで再興されたこと、檀家以外の一般の人にも気軽に立ち寄ってもらえるお寺づくりに取り組んだことなど



講演会の様子

写真、グラフでわかりやすく説明されました。

日本では猫好きの聖地とされているようですが、海外からの人も多く、特に香港、台湾からが多いようです。

その後、広島から来ていただいた大田支部長の乾杯のご発声で懇親会が始まり、歓談の輪ができ親交を深めることができました。

記:岸田 潤三(C58)



集合写真

香川支部総会報告

香川支部

毎年6月に実施している名古屋工業会香川支部総会は、去る2025年6月15日(日)に本部から仁科常務理事(B50)を迎え、支部会員26名が出席し、例年どおり香川を代表する観光名所である栗林公園内の花園亭で開催しました。

総会は、藤川支部長(E52)のあいさつに始まり、工業会本部よりお越しいただいた仁科常務理事からは、名古屋工業会の取り組みについてお話しをいただきました。引き続き幹事による2024年度の香川支部会計報告等が行われました。

総会に続き、出席者の長老である久保氏(E32)の乾杯のご発声により懇親会へと移り、栗林公園の庭園を眺めながらの料理と酒に話が弾みました。また、恒例の各人からの近況紹介ではそれぞれが興味の尽きない話をされ、例年どおりの盛況ぶりでした。

約3時間の総会・懇親会の終わりは、恒例の「東海のほまれに」を全員で斉唱し散会いたしました。

記:田村 隆之(FM◎)



集合写真

日時:2025年6月20日(金)午後6時から
場所:阿波観光ホテル
参加人数:10名

次第

- 1 支部長挨拶 福井 雅彦
- 2 来賓ご挨拶 堀口 大輔 理事
- 3 令和6年度事業報告・会計報告
- 4 令和7年度事業計画

懇親会

- 1 乾杯唱和 後藤田 啓造
(懇談)
- 2 万歳三唱 福島 稔

徳島支部は、往時は20名を超える参加者がありましたが、日本社会の高齢化に伴い減少を続け、特にコロナ禍以降は10名ほどに落ち込んでいます。本年は、急な欠席者もあり、ご来賓の堀口理事を加え8名の参加者でした。

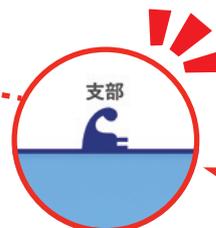
本会の事業は、役員会、総会、年に4回開催のゴルフコンペ、そして忘年会の4つです。役員会を除く各行事の参加者は、新規会員が居ないことから年々減少し、ここ数年は10名を切る状態が続いています。

記:福井 雅彦(S52)



集合写真

\\ 支部に関する情報は名古屋工業会ホームページに掲載! //



支部のアイコンを
クリック!

名古屋工業会ホームページ
<https://www.nagoya-kogyokai.jp/>




ゴルフ大会報告

第142回 名工大ごきそ会報告

名工大ごきそ会

第142回名工大ごきそ会は、2025年5月27日(火)愛知県みよし市に位置する名門三好カントリー倶楽部で15名の参加を得て開催されました。当日は曇りの天候で、午後から雨の予報もある中、スループレーで開催されました。

今回はスタート時間が8時33分と早く、また若いキャディさんのテキパキとしたサポートもあり、早めに切り上げることができ、プレー後に雨が降り出すという幸運に恵まれました。当日はグリーンが補修中のため、パットに悩まされた人が多くスコアはかなり厳しい結果となりました。

この中、優勝者は岡田聡さんで、グロス

102、ネット74のスコアでした。OUT/INともうまくスコアをまとめられたことが勝因に繋がりました。準優勝者は平岡雄偉さんで、グロス91、ネット78の成績でした。第3位は赤井憲彦さんで、グロス110、ネット79の成績でした。BB賞は水谷尚美さんでした。特別賞としては、ベストグロス賞は平岡さんが獲得されました。ニアピン賞は篠田さん、岡田さん、水谷さん、梶原さんの4名でした。バーディー賞は今回ありませんでした。高齢者が多いごきそ会には少し難しいコースでした。大波賞は水谷さん、汗闘賞は市橋さん、オシドリ賞は伊藤さんという結果でした。

プレー後の懇親会で赤井さんから2024年度の会計報告をいただきました。会費については今年度半期1万円と決まりました。次回は加藤様のご紹介で9月19日(金)豊田市に位置する藤岡CCでの開催を予定しております。

名工大ごきそ会は愛知県内のゴルフクラブで年4回開催しております。ごきそ会の会員であれば、どなたでも参加できます。興味のある方は山田までご連絡ください。(E-mail:kazuoy50@gmail.com)

記:山田 和男(E47)



集合写真

第263回 名工会東京支部ゴルフ大会報告

東京支部

名工会東京支部ゴルフ会第263回大会は、2025年6月5日(木)に名門コース中山カントリークラブにて開催されました。当日は晴天でしたが、それほど暑くもなく(紫外線は強かったですが)、風も強くなく、絶好のゴルフ日和でした。今回は16名のご参加を得て、久しぶりの4組での開催となりました。

結果は、優勝 M49の岩崎幸治さん(NET71,HC28)準優勝 M36の野澤滋為さん(NET74,HC25)、3位 B45の林利信さん(NET77,HC10)でした。



後列左より:野澤(M36)、岩崎(E49)、三好(A40)、佐藤(B50)、戸澤(M55)、加藤(D36)、津田(M39)、西口(Mb49)、河野(M42)

前列左より:藤田(E33)、林(B45)、伊藤(A35)、濱木(D35)、馬嶋(A40)、栗本(D56)、中村(G62)

プレー終了後、クラブハウス内のレストランにて、各賞の表彰式と懇親会を和やかに行いました。

次回は9月25日(木)、大厚木カントリークラブを予約しております。奮ってご参加願います。尚入会ご希望の方はG62中村理恵(rienakamura0529@gmail.com)までご連絡ください。

記:実行委員 中村 理恵(G62)、馬嶋 建(A40)

第7回 広島支部ゴルフコンペ開催報告

広島支部

2025年4月28日(月)、広島駅から東方23km(車で約30分)に位置する東広島市の宮島志和カンツリー倶楽部にて、広島支部の第7回ゴルフコンペを開催しました。天候は、前日までは好天気が続いていましたが、参加者の誰の行いが悪かったのか、残念ながら午前中は小雨が降り続き気温も15℃とやや肌寒い悪コンディションでした。

シニアの参加者に配慮してプレー費の安い平日で、就業者でも休み易いゴールデンウィーク前の飛び石連休の中日開催としましたが、コロナ禍収束から2年経ち旅行需要の高まりの影響か、前回よりも1名少ない2組(7名)の参加者でした。

優勝は、和田泰孝氏(M62)が豪快なスイングでグロス105(アウト53、イン52)、ハンディ34、ネット71を出し、初参加での優勝を飾りました。

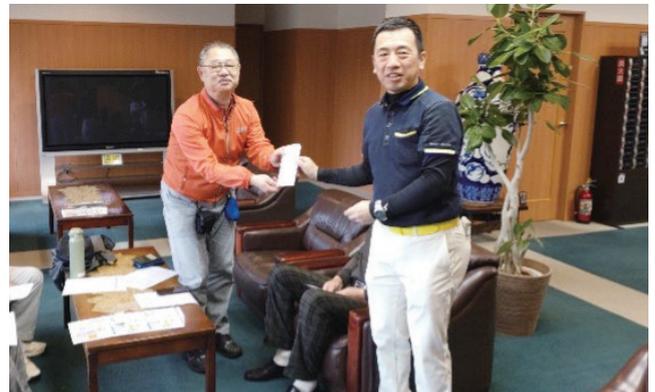
次回は12月29日(月)に宮島カンツリー倶楽部を予定しており、多くの参加者を期待したいです。

記:大田一夫(C47)

順位	氏名	OUT	IN	グロス	HD	ネット
優勝	和田泰孝	53	52	105	34	71
2位	久保利幸	46	43	89	15	74
3位	田頭豊	51	48	99	20	79



集合写真



左が優勝の和田泰孝氏(M62)

工大祭企画「名工大歴史館」今年もやります

工大祭期間中に「名工大歴史館」を開催いたします。今年で4年目となりますが、毎年多くの方にご来館いただきご好評いただいております。名工大の前身である名高工から現在の大学に至るまでの歴史を紐解く企画となっています。在学生には、自分の大学の歴史を知ってもらい、受験生や保護者、一般の方々には、名工大をより親しく感じてもらえるのではないのでしょうか。是非この機会に足をお運びください。

なお、詳細については、名古屋工業会ホームページの最新情報をご確認ください。

日時

2025年11月15日(土)・16日(日)
工大祭期間中です。

場所

名古屋工業大学内 校友会館2F
(正門入ってすぐ右手の突き当りです)

入場無料です。

皆さま多数のご来場をお待ちしております。



昨年の様子(見学する来館者)



課外活動

名古屋工業大学フォーミュラプロジェクトの紹介

こんにちは！名古屋工業大学フォーミュラプロジェクトです。私たちは、毎年夏に愛知県国際展示場にて行われる学生フォーミュラ日本大会に参加しております。学生フォーミュラプロジェクトでは、学生が主体となって1年でレーシングカーを設計・製作しています。私たちは、その中でも、EV車両を製作しており、車両のマーケティングやコストなどを競う静的審査と車両の性能を競う動的審査を含めた総合優勝を目指しています。

弊チームは前回大会が始まる前から新しいチーム体制や目標設定などについて協議を始め、大会後の10月から車両の設計・製作を進めてきました。10月にレギュレーションをチームで共有・確認し、それと同時に、シミュレーションの結果をもとにして、目標タイムを達成できる車両重量を確認し、その重量に到達することをチーム全体での設計目標にしました。

これを受けて各パーツ担当者が自分のパーツの目標諸元を設定しました。その後、チーム内で設計発表を繰り返し、パーツの干渉や安全性の確保なども確認しながら車両を設計することを心がけました。そして、春休み期間に15号館を活用し自身でパーツを作成、難しい製作物はスポンサー企業に依頼するなどして車両を作り上げてきました。今年度の車両は、バッテリーを変更しただけでなく各パーツ担当者が設計を見直したことにより、30kgの軽量化に成功し、車両の性能が向上していることを実感しています。

また、4月27日(日)には計画通りシェイクダウンを行い、以降走行テストを学内・学外サーキットなどにてほぼ毎週末実施しています。走行後には、毎回全体で反省会を行い、走行時に発生したトラブルを1つ1つ共有した上で解決策を発表し大会に向けて万全の状態出場できるようにしました。1年を通して忙しい日々が続きますが非常にやりがいのある活動です！

弊チームには、3年生10人、2年生17人、1年生20人に加えて、4年生や院生の方にも協力してもらい活動を進めています。弊チームは、チームメンバーだけでなく、活動資金をご支援いただける方も募集しております。ご興味をもっていただける方がいらっしゃいましたら、チームリーダーの村瀬までご連絡ください。(連絡先: nit.formula.project@gmail.com)



2024年度大会での集合写真



2025年度車両の走行時の様子

記: 創造工学教育課程 生命物質化学分野
2年 柴田 祥佑

自動演奏ピアノ名作選——「音楽らしさ」はどこからくるのか？

in名工大御器所キャンパス 22号館

2025年7月28日(月)、名古屋工業大学と愛知県立芸術大学によるコラボレーション企画「自動演奏ピアノ名作選——「音楽らしさ」はどこからくるのか？」が、ARTFUL CAMPUSの一環として開催されました。自動演奏ピアノによって再現された20世紀以降の実験的な音楽作品を通じて、「演奏とは何か？」という根本的な問いに迫る意欲的な試みです。

本講座は、愛知県立芸術大学准教授・安野太郎氏の進行により、「演奏者がいない」演奏会という特異な形式で展開されました。

第一部：設計された演奏としての自動演奏

第一部では、愛知県立芸術大学の学生たちが制作した演奏データによる自動演奏ピアノの演奏会が行われました。演奏データは、楽譜や録音資料に基づいて音のタイミング・強さ・長さ・間合いなどを緻密に設計したもので、単なる機械的再生ではなく、演奏解釈が反映された「設計された表現」として提示されました。

演奏曲目には、アレッサンドロ・ストリジヨやイーゴリ・ストラヴィンスキーなどによる名作が取り上げられ、過去の音楽と現代の技術との接続を感じさせる内容となりました。



演奏会の様子(22号館)

第二部：機械と人間、演奏の境界線を問う

第二部では、譜面に基づいて作成された自動演奏と、人間の演奏を記録したデータに基づく自動演奏とを比較する企画が行われました。参加者は、どちらが人間の演奏であるかを聴き分ける体験を通じて、演奏行為の本質や「音楽らしさ」の所在について考察を深めました。この試みは単なるクイズの要素にとどまらず、参加者の音楽的経験や文化的背景への関心を誘うものでもありました。

技術と芸術の交差点としての演奏

当日は、小畑学長をはじめ約50名が参加。人間では困難な強烈なタッチや超絶技巧による演奏に、機械ならではの迫力が示される一方で、演奏における創作と解釈、再現と表現、技術と芸術、さらには機械と人間の関係性など、多様なテーマが浮かび上がりました。



演奏者がいなくても下がる鍵盤

本企画は、名古屋工業大学と愛知県立芸術大学という異なる専門性を持つ2つの教育機関の連携によって生まれた、芸術とテクノロジーの境界を問い直すにふさわしい意欲的な試みとなりました。

(※この演奏会に使用された自動演奏ピアノは、名古屋工業会などがアートフルキャンパスのために寄附した基金をもとに購入されたものです。)

記：名古屋工業会事務局

名工大 オープンキャンパス開催

2025年8月1日(金)、39度に迫る猛暑の中で名工大オープンキャンパスが開催され、4,000人を超える高校生が参加しました。正門前の道には、開催時刻の1時間以上も前から会場に向かう高校生の長い列ができました。

今年のオープンキャンパスは、大学が開催する公式行事のほか、学生が行うキャンパスツアーや学生びあサポーターによる相談室など、在学生による未来の後輩たちへの活動もありました。

メイン企画の特別講演会では、名工大と他大学との違い、学科・教育課程の特徴などの説明があり、本学のキャリア教育について



受付に向かう高校生

の紹介がありました。保護者向け講演会では、本学の概要、社会実装力について説明がありました。

そのほか、各学科による模擬授業や研究室見学、個別相談会、女子学生向け座談会など多数の行事があり、御器所キャンパスは多数の高校生が行き交いました。

記:名古屋工業会事務局



400人の高校生で埋まる特別講演会(5111講義室(旧101講義室))



熱心に話を聴く保護者(保護者説明会(NITechHall))



一本松古墳で留年の「都市伝説」を聴く高校生たち(学生によるキャンパスツアーで)



個別相談会の様子(4号館ホワイエにて)



猛暑をしのぐためかき氷やフロゼンのキッチンカーも出動しました



学生のびあサポーターによる相談室に呼び込む学生

活動紹介

尾張支部 支部総会でミニコンサート開催 工場見学なども

尾張支部は、約1,424名(2024年9月時点)の会員からなる比較的大規模な支部です。支部の運営は13名の支部役員が中心となり、年数回の面会方式の支部役員会、及び緊急時はメール等で支部行事の企画・審議を行っております。主な支部行事としましては、春の「支部総会」と秋の「見学会」が中心で、ご多分に漏れず当支部でも、これら行事への参加者減少に悩んでおります。

ここでは支部の主要行事であります「支部総会」に対する尾張支部の取り組みを紹介します。

支部総会の概要

例年4月第2週の土曜日に、名古屋文理大学文化フォーラム(稲沢市民会館)で開催します。式次第としては、第1部 支部総会、第2部 特別講演(時流に応じた話題を母校名古屋工業大学の先生から講演いただく)、第3部 ミニコンサート、そして最後に懇親会となっております。支部総会のプログラム内容は、前述の支部役員が集まった支部役員会で審議・決定し、進行も支部役員の方に携わっていただき、司会進行から懇親会の準備まで手作り感満載の総会となっております。

支部総会でのユニークな取り組み

当支部のユニークな取り組みとして、第3部のミニコンサートを紹介します。コロナ禍前までの過去の総会では、プロの音楽家をお願いしていました。それを継続できなくなり、工業会本部役員のアドバイスをいただき、ここ2年間は母校名古屋工業大学のサークルの方々に出演依頼をする形に変更しました。具体的に昨年は管弦楽団の21名に、今年はアカペラサークル Grazie! の17名に出演していただきました。それぞれのジャンルの演奏に加え、参加者であるOBにも馴染みのある楽曲も含め、1時間の楽しい時を共有できました。

更に出演された学生の皆さんは懇親会にも参加していただきました。学生の皆さんからは最新の学校生活の様子を先輩に語っていただき、最新の母校の情報を伝えてもらいました。また学生の皆さんから先輩には、就職活動や社会人生に関する多くの質問がなされました。参加者全員が楽しく実のある交流をする事が出来たと思っております。来年の支部総会も既に企画中で、母校の別サークルに出演をお願いする予定です。



アカペラサークルのパフォーマンス



懇親会の様子

尾張支部の活動予告

・秋の見学会：2025年10月24日(金)に筆者の出身企業であるブラザー工業株式会社様の工場とショールームを見学します。

・来春の支部総会：2026年4月11日(土)に名古屋文理大学文化フォーラムにて開催します。

共に、詳細な計画が決まり次第、名古屋工業会のホームページ(<https://www.nagoya-kogyokai.jp/>)に掲載します。皆様におかれましては、ホームページ確認後、参加表明をしていただきますと幸いです。

文責:名古屋工業会尾張支部長 小久江 智之(M53)

大阪支部 交流サロン、歴史探訪会など開催 地方部会、若手・女性部会も

名古屋工業会大阪支部は、居住地または勤務先が大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県の5府県と、兵庫県のうち尼崎、西宮、芦屋、宝塚、川西、伊丹の各市にある会員で構成されています。大阪支部は各単科会単位で活動していますので、支部の単科会に登録すると自動的に全体活動にも参加できます。

同窓生であれば会員であるかどうかにかかわらず参加可能ですが、正会員には各種特典があり優遇されます。イベントの案内メールは登録された方にだけ届きます。

大阪支部のホームページで、行事予定や各種イベント通知・報告をご覧いただけます。

大阪支部では、各単科会での新卒業生・新たな会員の入会が非常に少なく、高齢化により十分な活動が行えなくなっている単科会があります。コロナ禍以降、なかなか思うような活動ができなくなりましたが、より多くの方へ各種行事に参加していただくために、Web会議の活用や各単科会からのメールによる案内の徹底を行っています。

各行事に参加していただいた方には、同級生・先輩・後輩へのお誘いをお願いしております。

主な活動

- ・支部総会 10月第1土曜日(2025年10月4日(土)) ハイブリッド会議
- ・定例会議 1回/月(10月を除く) 9回はWeb会議、2回はハイブリッド会議

総務委員

大阪支部の運営を行っています。定例会議を開催し、工業会の活動報告や各委員会・部会の行事等の調整を行っています。

会員増強委員会

登録会員、年度会員の方に終身会員への加入をお勧めしています。

若手・女性部会

現役若手・女性とOBとの交流の場として、名古屋工業大学の在学生、OB・OGの方にご講演していただいています。

●交流サロン

Web形式の講演会を年3回(4、8、12月)開催しています。講演いただく内容は、産業分野の知見、業務経験、歴史解説、紀行報告、趣味紹介など多岐に渡っています。

事業委員会

各行事の担当者で構成され、各行事の企画・運営を行っています。

●歴史探訪の会

歴史的な史跡・遺跡等を訪ね見聞を広めることができます。年2回(春4~5月、秋10~11月)

●見学会

同窓生が勤務している各企業の施設・設備や名高い地域・施設などを見学します。年2回、1回は兵庫支部と共催しています。

●名古屋工大会 大阪支部ゴルフ同好会

同窓生で和気あいあいとゴルフを楽しみましょう。

開催回数309回(2025年10月3日(金))

年4回開催、同好会員48名

●釣りの会

海上釣り堀岬 大阪府泉南郡岬町 年4~5回



大阪支部ゴルフ同好会 第308回



歴史探訪の会 「聖徳太子の眠る里」大阪太子町巡り

地方部会

京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県の4部会あり、各府県在住の方を対象として、年1回部会を開催しています。事業部会の歴史探訪の会、見学会と共催しています。



京都部会共催見学会「早春の修学院離宮と東山散策」

技術士部会

春と秋に例会を開催し、関西在住の技術士相互の情報交換、交流しています。ごきそ技術士会(本部)との連携を検討しています。

財務委員会

大阪支部の財政に関する事務を担当しています。

単科連携委員会

各単科会の情報交換、大阪支部との連携による共催行事などを行っています。

記:堀口大輔(C59)

2025年度 名古屋工業会 大阪支部 年間行事

大阪支部			
2024年 10月	5日(土) 大阪支部総会(中央電気倶楽部+Web会議)	2025年 4月	16日(水) 第1回役員会(中央電気倶楽部+Web会議)
11月	20日(水) 第1回総務委員会(Web会議)	5月	21日(水) 第5回総務委員会(Web会議)
12月	17日(火) 第2回総務委員会(忘年会)	6月	18日(水) 第2回幹事会(Web会議)
2025年 1月	15日(水) 第3回総務委員会(Web会議)	7月	16日(水) 第6回総務委員会(Web会議)
2月	19日(水) 第4回総務委員会(Web会議)	8月	20日(水) 第2回役員会(中央電気倶楽部+Web会議)
3月	16日(水) 第1回幹事会(Web会議)	9月	10日(水) 第3回幹事会(Web会議)

事業委員会・会員増強委員会・地方部会			
2024年 10月	2日(水) 第305回名工会ゴルフ(茨木高原CC)	2025年 4月	2日(水) 第307回名工会ゴルフ(PGM池田CC) 12日(土) 第19回大阪支部交流サロン(Web開催) 19日(土) 歴史探訪の会(聖徳太子眠る太子町巡り) 奈良部会共催
11月	10日(日) 歴史探訪の会(名城本丸御殿・徳川美術館) 16日(土) 第20回技術士部会(秋の例会) 29日(金) 第306回名工会ゴルフ(茨木高原CC) 30日(土) 滋賀部会見学会(近江鉄道・瓦屋禅寺他)	5月	10日(土) 釣りの会(相乗) 30日(金) 第308回名工会ゴルフ(PGM池田CC)
12月	21日(土) 大阪支部交流サロン(Web開催) 27日(金) 釣りの会(相乗り)	6月	20日(金) 技術士部会
2025年 2月	19日(水) 単科会連携委員会(Web会議)	7月	12日(土) 釣りの会(相乗) 23日(金) 滋賀部会講演会
3月	1日(土) 釣りの会(相乗) 8日(土) 京都部会散策会(修学院離宮と寺社見学) 見学会共済	8月	20日(水) 単科会連携委員会(Web会議) 31日(日) 第20回大阪支部交流サロン(Web開催)
		9月	20日(土) 釣りの会(相乗)

本部・単科会			
2024年 10月	5日(土) 名窯会関西支部総会 19日(土) 光鯨会関西支部総会・見学会 (THE COSMOPOLITAN/グラングリーン大阪) 30日(水) 緑会近畿支部秋の集会(玉乃光酒蔵夢天下会)	2025年 4月	4日(金) 光鯨会第2回幹事会・講演会(Web併用)
12月	14日(土) 緑会近畿支部冬の集会(忘年会・鶴橋)	5月	10日(土) 名窯会大阪支部見学会(亀の瀬歴史資料館他) 24日(土) 名古屋工業会本部総会
2025年 2月	7日(金) 光鯨会第1回幹事会・講演会(Web併用)	6月	6日(金) 光鯨会第3回幹事会・講演会(Web併用)
3月	27日(木) 巴会 ゴルフ会(大津CC西)	7月	12日(土) 電影会総会(中央電気倶楽部) 26日(土) 関西CE会(中央電気倶楽部+Web)
		8月	1日(金) 光鯨会第4回幹事会・講演会(Web併用)

広島支部 「活躍する同窓生」が支部総会で話題提供 緻密な支部活動を展開

2017年までは広島支部総会の案内を往復ハガキで行っており、送料の制約から例年出欠連絡がある約50名に限定していました。その影響もあり、参加者は20名に届かず横這い傾向が続いていました。

2018年の支部総会に先立ち、電話番号や住所を把握している卒業生全員にメールアドレスの確認作業を行い、現在、連絡可能な会員は表1に示すとおり256名で、そのうちメールで直接連絡可能な方が137名、マツダの社内メールを経由して間接的に連絡可能な36名を合わせて173名(68%)がメールでの連絡が可能になりました。

会員の消息を確認する意味で支部総会の案内はメールに加えてFAXや郵送で全員に案内していますが、その他の情報提供はメールのみで行っています。

2018年の支部総会では、初めて鶴狩学長が参加されたこともあり、従来の懇親会のみから約1時間の講演会を加えた

連絡手段	正会員	登録会員	合計
メール	25	112	137
マツダ社内メール	1	35	36
FAX	1	14	15
郵送	35	33	68
合計	62	194	256

表1 連絡手段別会員数の内訳

ところ、前年の2倍(34名)の参加者を集めることができました。以後、表2に示すとおり、懇親会に講演会を組み合わせた方式で開催しています。特に2023年からは「活躍する同窓生」として広島支部の会員が話題提供するコーナーを設けています。

また、2018年の支部総会においてゴルフコンペを開催しようという機運が高まり、年2回を目標に表3のとおり開催しています。しかし、2020年～2021年のコロナ禍による両行事の休止の影響は大きく、コロナ後の参加者の伸び悩みが課題となっています。

その解消策として、石炭ガス化技術とCO2分離回収・利用技術を組み合わせ、カーボンニュートラルを目指す低炭素石炭火力発電の実証事業「大崎クールジェン・プロジェクト/細越俊哉(ES-H4)」の見学会を本年10月2日(木)に企画しています。

また、本年6月の支部総会では、会場だけでなくWeb参加も可能なハイブリッド方式での開催を試行しましたが、残念ながらWeb参加は4名に留まりました。広島支部には、広島市から東方約100km離れた福山市方面にも約2割の会員が在住しており、遠隔地で支部総会に参加しにくい方のためにWeb参加は有効と考えています。幸い大阪支部や計測会からWeb講演会の案内が届くので広島支部の会員にも案内して、Web講演に慣れる機会とし、普及したいと思っています。

記:大田 一夫(C47)

年度	演題 / 講師	参加者
2017年	懇親会のみ	17名
2018年	名古屋工業大学の将来ビジョン/ 鶴狩裕之学長(F52)	34名
2019年	令和時代の名工大の様子と学生支援/ 山下啓司学長特別補佐(W56)	26名
2022年	データから何を読み取るか/ 仁科健常務理事(B50)	21名
2023年	トヨタとはひと味違うダイハツのモノづくり、 コトづくり/横山裕行理事長(K49) 革新的低炭素石炭火力について:大崎クール ジェン・プロジェクト/細越俊哉(ES-H4)	23名
2024年	G-NoFi(株)の環境・エネルギー技術開発の紹介/ 北野洋一郎(D46)	21名
2025年	小さな賃貸住宅「テラスコート牛田旭」 建設・経営物語/宮本茂(A57)	23名 (4名)

表2 講演会

回	年・月	ゴルフ場	優勝者	参加者
1	2018年11月	東映CC	西尾和彦(B55)	6名
2	2019年9月	三原CC	天野景一郎(C63)	10名
3	2022年11月	宮島CC	村神哲也(F43)	8名
4	2023年6月	佐伯CC	村神哲也(F43)	6名
5	2023年12月	宮島CC	田中洋一(C49)	8名
6	2024年12月	宮島CC	細越俊哉(ES-H4)	8名
7	2025年4月	志和CC	和田泰孝(M62)	7名

表3 ゴルフコンペ



2018年度広島支部総会の集合写真

九州支部 チャレンジ50(参加者50人を目指す) 福岡～沖縄の広域支部

九州8県に在住される卒業生の皆様の集まりです。残存する記録は昭和33年以降ですが、それ以前より八幡製鉄に入社されたOBの集まりもあったろうと推測されます。現在294名の卒業された方の登録があり、メールと葉書で連絡しています。九州支部は、やはり福岡県在住の方が多く56%を占めています。特に企業城下町の北九州市(日本製鐵・TOTO・安川電機他)と支店が集まる福岡市が多数です。従って支部総会は、博多・小倉と一年毎に会場を変えて開催しています。2018年3月から参加者減少に歯止めをかけるべくチャレンジ50(参加人数を20人から50人に!)を掲げて活動しています。(1)講演会(2)見学会(3)ミニ観光(4)学生クラブ活動の支援(5)ゴルフ親睦会とそれぞれ活動してます。



支部総会in博多会場

講演会(講師は卒業生に依頼)ではスターリングエンジン・各知財権の制度について・薩摩焼の原料と衛生陶器廃棄物再生についてを開催しました。

工場見学では、トヨタ自動車九州・三菱重工長崎工場・安川電機ロボット工場・TOTO小倉工場を見学しました。ミニ観光では、修復中の熊本城・吉野ヶ里公園にガイド付で見学しました。今年の見学会は、軍艦島・出島巡りをメインに計画しています。

学生支援では、総会にソーラーカー倶楽部の学生を招き活動を発表してもらい皆様にカンパもお願いしました。

ゴルフについては、コロナ禍中は中断していましたが、今再開すべく準備しています。

年2回の支部役員会議(土木・建築の単科会幹事、日本製鐵小倉・三菱重工長崎の企業幹事を含む)で活動内容の計画をしています。

沖縄・鹿児島・宮崎からは、中々参加していただけないですが、情報の共有・コミュニケーションを取る事で名古屋工業大学卒業生として意識していただけるよう頑張っています。

記:吉村尚(A50)



TOTO(株)小倉工場見学会



吉野ヶ里歴史公園見学会

訃報

謹んで追悼の意を表します。

氏名	科卒年	逝去日
浮田(旧:宮本)和明	C28	
松原 正明	C45	
河野 定	C54	
白井 昭	M23	R7.2.26
山地 宣行	M44	
松下 昭	E23	R7.4.12
牧野 和正	E23	

氏名	科卒年	逝去日
後藤 吉彦	E25	
上野 幸雄	E28	
伊藤 英輔	E29	R6.10
森島 茂樹	E34	
吉岡 啓光	E38	
櫛部 精次郎	Es45	R6.4
浜本 英夫	Es56	

氏名	科卒年	逝去日
梶田 隆介	II E16	
大崎 硬生	W30	R6.10.3
松尾 泰幸	Y35	R7.5.23
石谷 和弘	Y44	
近藤 穆	K40	R4
小坂井 孝生	K49	R7.1.17
蔵本 四郎	Ⓚ20	R3

since2005 **WORLDTECH**

自動車分野で培った知識と知恵を チーム力で活かし、 技術課題と人材育成のソリューションを提供する

- ・**技術支援** ※1 100名のデンソー等メーカー出身者が、企画・開発設計・品質・生産技術・生産まで、技術課題のソリューションをお届けします。例) 設計デザインレビュー支援
- ・**技術研修** ※2 実務経験を活かした80講座を超える技術研修を取り揃え。リスキリングやeラーニングにも対応し、幅広く人材育成を図ります。例) 車載電子部品の信頼性研修

※1：上場企業30数社や中小企業様まで数多くの支援実績があります。設計思想までを対象とするベンチマーキング業務も承ります。

※2：企業内研修・研修企画会社等のセミナーなど、累計で約1000件以上の研修を実施してきました。オンラインWeb研修にも対応します。

変革期を迎えたモノづくりに貢献する

株式会社 ワールドテック
代表取締役 寺倉 修 (F50)



〒460-0008 名古屋市中区栄5丁目28番12号名古屋若宮ビル
TEL: 052-211-7861 E-mail: solutions@worldtech.co.jp
http://www.worldtech.co.jp

名工大歴史館

名工大の120年の歴史を感じよう

日程: 2025年11月15日(土)・16日(日)

場所: 名古屋工業大学校友会館2階

工大祭期間中に名工大歴史館を開館します。
母校の成り立ちと発展、先人たちの足跡をたどり、
母校の歴史を感じていただけます。
当日は、無料休憩所も用意しますので、
工大祭見学の休憩場所としてもご利用いただけます。

詳細は名古屋工業会ホームページをご覧ください。

どなたでも会誌「ごきそ」をご覧になれます

GOKISO ごきそ最新



2025.07.18.
会誌「ごきそ」夏号
(523号) 発行



過去のごきそ一覧

クリック!

名古屋工業会では、登録会員(以前の非会員)の方々にも工業会の活動を知っていただくため、ホームページの会誌「ごきそ」をパスワードなしでご覧いただけるようにしました。

名古屋工業会ホームページ
<https://www.nagoya-kogyokai.jp/>

